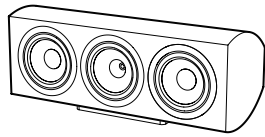


# TANNOY

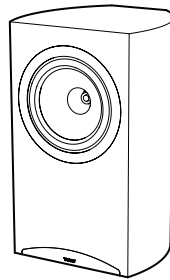
# Definition

TANNOY LOUDSPEAKER

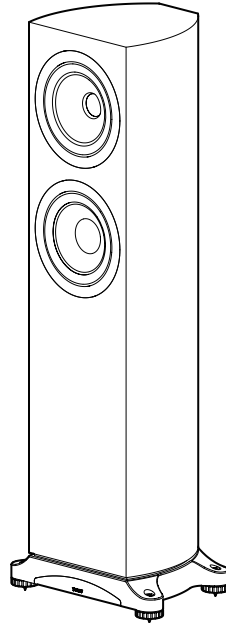
## 取扱説明書



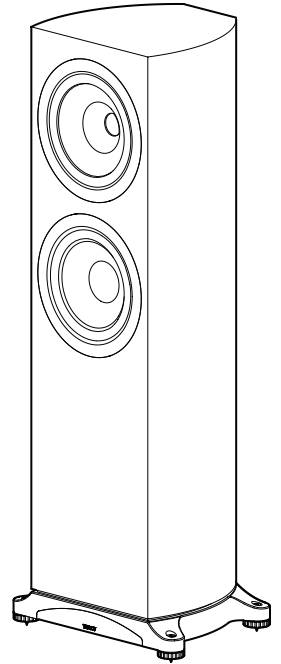
DC 6 LCR



DC8



DC8 Ti



DC10 Ti

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

# お使いになる前に

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

### 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



強制

Definition DC8 は 10kg、  
Definition DC8Ti は 28.8kg、  
Definition DC10Ti は 43kg、  
Definition DC6LCR は 11.9kg、  
あり重いので、開梱や持ち運びの際は、  
落としたりして怪我をしないように注意  
する。



強制

アンプなどに接続する際は、接続する機  
器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、  
説明に従って接続する。  
また、接続は指定のコードを使用する。



強制

接続したアンプの電源を入れる前には、  
音量を最小にする。  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因  
となることがあります。



注意

設置の際はスパイクの先端に注意する。  
スパイクネジの先端は鋭利になっていま  
すので、怪我をしないよう十分にご注意  
ください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定  
な場所、または振動の多い場所に置かない。  
落下したり倒れたりして、怪我の原因と  
なることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で、使用しない。  
スピーカーユニットが発熱し、火災や損  
傷の原因となることがあります。

## 使用上の注意

- エンクロージャーや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。
- 本機に使用しているスピーカーユニットは強力なマグネット（磁石）を使用しています。そのため、本機の上に磁気記録のカード、テープ、ディスク類、その他磁気の影響を受けやすい物を置くと磁気データの消去や破損の可能性がありますので、絶対に置かないでください。
- アンプからの入力とは適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。  
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。  
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

# 設置

## 設置上の注意

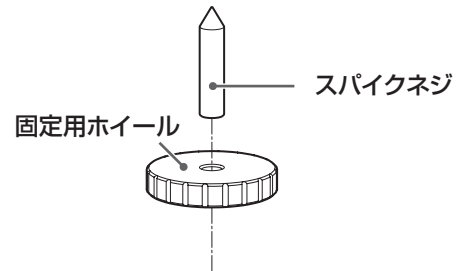
- 直射日光があたる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙があたる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。また、脚の高さの不揃いなどで、本体が倒れたりしないように、十分ご注意ください。
- ブラウン管のテレビに近づけて設置した場合、スピーカーユニットの磁力の影響により、テレビの画面に色むらが出ることがあります。そのような場合にはスピーカーをテレビから離し、色むらの出ない距離でご使用ください。液晶テレビやプラズマテレビでは磁力の影響は受けません。
- スピーカーシステムと視聴位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。

## 設置について

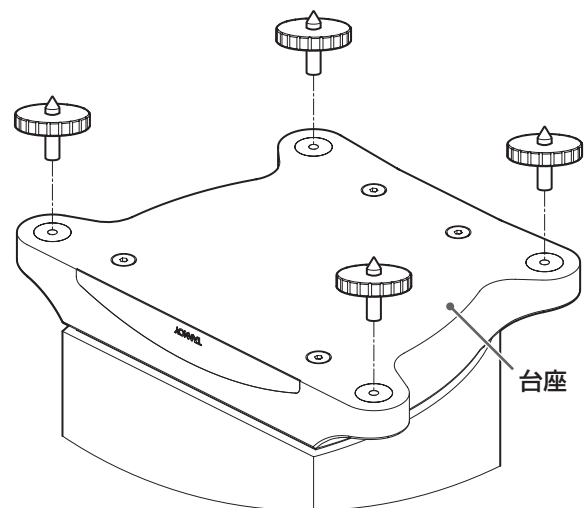
- Definition DC8 は、ブックシェルフタイプの小型スピーカーです。市販のスピーカースタンドの上やラックの棚などの安定した場所に設置してください。
- Definition DC8 Ti / DC10 Ti は、ワイドレンジのトルボーイタイプスピーカーです。
- 設置する床が弱いと、低音域で共振しがちです。共振を防ぐためには、カーペットなどを敷くと効果的です。Definition DC8 Ti / DC10 Ti の場合は、スパイクとフットベースを利用してください。DC6 LCR の場合は、付属の台座を利用してください。

## スパイクネジについて

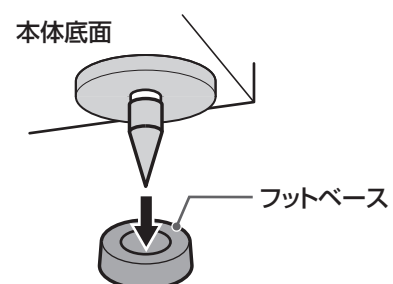
- 本体に付属のスパイクを取り付けます。
- 1 傷がつかないように毛布などを敷き、スピーカーの底面を上にして。
  - 2 固定用ホイールをスパイクネジにねじ込みます。



- 3 台座のネジ穴にホイールと一緒にスパイクを奥までねじ込み、固定用ホイールを仮締めします。



- 4 4ヶ所の足の取り付けが終わったら、設置場所にスピーカーを立てます。フローリングの床などに設置する場合は、床を傷つけないように、床に付属のフットベースを敷いて、ネジの先端がフットベースの窪みにはまるように設置します。



# 設置 ( 続き )

- 5 ガタつきがある場合は、台座の上部からスパイクネジを緩めて調整し、最後に固定用ホイール ( 4 ヶ所 ) を締めます。

## ⚠ 注意

- スパイク型のネジを床に突き刺すと、エンクロージャーが床に強固に固定され、共振が抑えられますが、床面に傷が付きますので、床の種類に応じてご使用ください。床を傷付けたくない場合は、付属のフットベースをご使用ください。

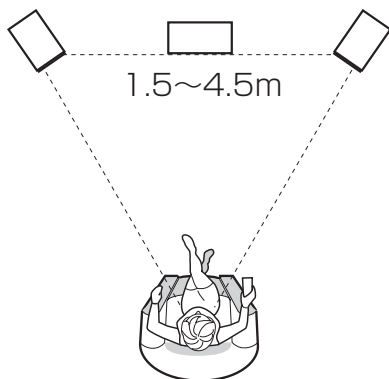
⚠ スピーカーの後部はスパイクの間隔が狭くなっていますので、スピーカーが倒れたりしないように、十分ご注意ください。

⚠ スピーカーが倒れて怪我をしないように、十分ご注意ください。

⚠ スパイクネジは先端が鋭く尖っていますので、手足や指に怪我をしないように十分ご注意ください。

## 設置位置

Definition		Definition
DC8		DC8
DC8 Ti	Definition	DC8 Ti
DC10 Ti	DC 6 LCR	DC10 Ti



リスニングポジション

- ステレオ再生の場合、左右のスピーカーは一般的にリスニングポイントを頂点として正三角形または二等辺三角形を形成する位置に設置します。その際、左右のスピーカーは 1.5m ~ 4.5m 離して設置することをおすすめします。

# 接続

## スピーカーケーブルについて

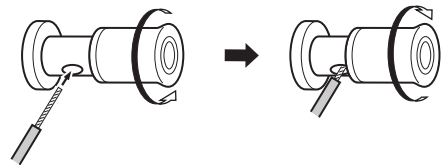
- 接続には、市販のスピーカーケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ種類・同じ長さの物を使用してください。

## 接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。スピーカーターミナル部は端子同士が近いため、スピーカーターミナル部の+端子と-端子がショートしないように注意してください。

### より線の場合

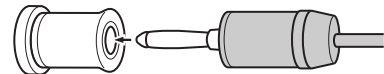
スピーカーケーブルの被覆を約 1cm むき、芯線をよくねじる。接続端子のつまみを左に回して緩め、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



### バナナプラグの場合

スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグを差し込みます。

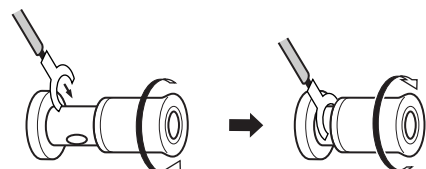
- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



### Y ラグ端子の場合

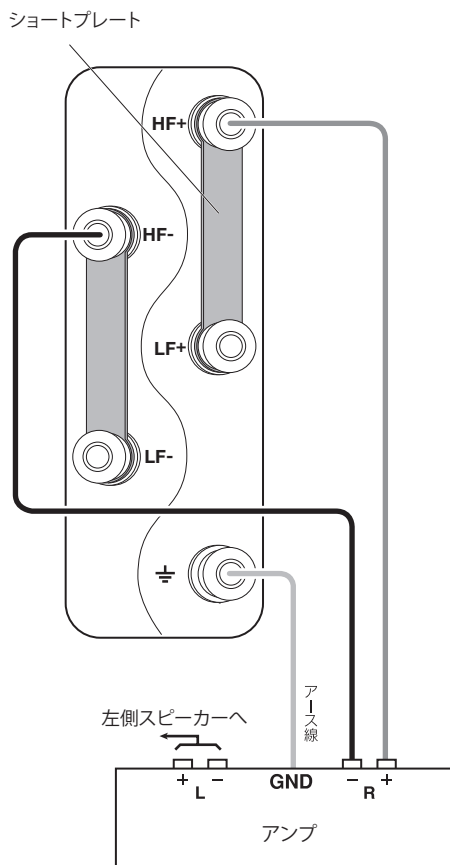
接続端子のつまみをゆるめて Y ラグ端子を挟んでから、つまみを締めます。

- Y ラグ端子は、内径 6mm 以上のものをお使いください。



## ノーマル接続

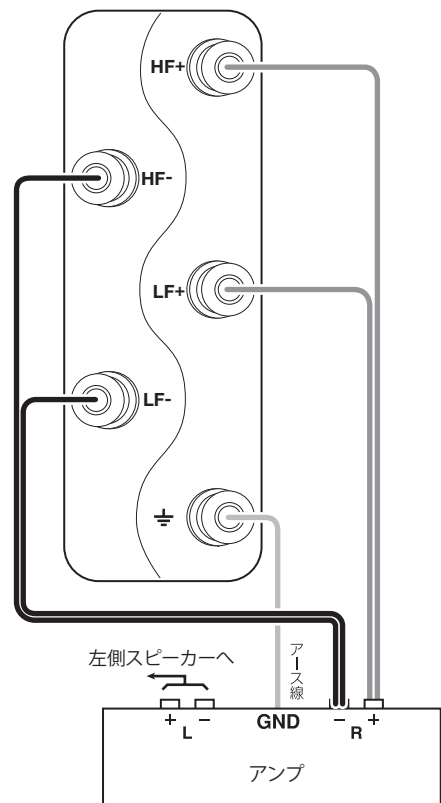
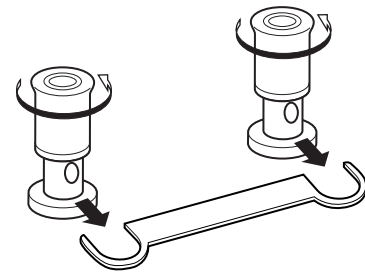
ノーマル接続(モノワイヤ接続)するためには、ショートプレートを取り付けたままにして、2つずつある赤(⊕)端子同士、黒(⊖)端子同士を接続してください。その後、LF+(低域用+)端子またはHF+(高域用+)端子とアンプの⊕端子、LF-(低域用-)端子またはHF-(高域用-)端子とアンプの⊖端子を、スピーカーケーブルで接続してください。LF(低域用)端子と接続した方が良い場合もありますが、一般的にはHF(高域用)端子との接続をおすすめします。



## バイワイヤリング接続

本機の性能をより引き出すために、バイワイヤリング接続をおすすめします。同じ長さの2組のスピーカーケーブルを使って、スピーカーの赤い端子(HF+とLF+)をアンプの⊕端子と、黒い端子(HF-とLF-)をアンプの⊖端子と接続してください。

- バイワイヤリング接続のときはショートケーブルを外して、+端子同士、-端子同士の接続を切ってください。



## 接 続 ( 続 き )

### アース接続について

- アース接続は、本機の緑 (  $\ominus$  ) 端子と、アンプのアース端子またはシャーシを直接アース線で接続します。
- または、スピーカーケーブルにシールド線を使用している場合は、シールドを、緑 (  $\ominus$  ) 端子とアンプのアース端子またはシャーシに接続することもできます。
- 本機をマルチアンプ駆動する場合には、アース接続は高域用アンプとのみ行ってください。低域用アンプとアース接続した場合、ハムノイズが発生することがあります。

### 位相チェックについて

- 左右のスピーカーの極性 ( + ・ - ) が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。
- 位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性 ( + ・ - ) を確認してください。一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

## お手入れ

- エンクロージャーの木部やエンブレムは、乾いた柔らかい布で慎重に拭いてください。汚れは、中性洗剤液を水で薄め、柔らかい布に少し含ませて、強く絞って拭いてください。(エンクロージャーの表面は傷防止のラッカー仕上げですが、汚れが付着したまま強くこすると傷の原因となりますので、特にご注意ください)  
一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。エンクロージャー表面の変色やひび割れなどの原因になることがあります。
- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。

## 保証とアフターサービス

### 保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。

### 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

### 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。詳細につきましては、保証書をご覧ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

型名: タンノイ デフィニション Tannoy Definition シリーズスピーカー  
シリアル No. :  
お買い上げ日:  
販売店名:  
お客様のご連絡先  
故障の状況(できるだけ詳しく)

### 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

# 主な仕様

型名	Definition DC8	Definition DC8 Ti	Definition DC10 Ti	Definition DC 6 LCR	
推奨アンプ出力	30W ~ 175W	30W ~ 200W	30W ~ 250W	20W ~ 175W	
連続許容入力 (RMS)	87W	100W	125W	87W	
最大許容入力 (瞬間)	350W	400W	500W	350W	
能率 (2.83V/1m)	88dB	89dB	92dB	89dB	
入力インピーダンス	8Ω				
周波数特性 ( - 6dB)	42Hz ~ 35kHz	33Hz ~ 35kHz	30Hz ~ 35kHz	35Hz ~ 35kHz	
指向特性	90°				
ドライバー ユニット	デュアル コンセンリック HF	25mm(1 インチ) チタニウムドーム テクノウェーブガイド			
	デュアル コンセンリック LF	200mm(8 インチ) ラバーエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル	250mm(10 インチ) ツインロールハードエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル	150mm(6 インチ) ラバーエッジ ペーパー コーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル	
	ウーハー	—	200mm(8 インチ) ラバーエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル	250mm(10 インチ) サブバス ツインロールハードエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル	150mm(6 インチ) ラバーエッジ ペーパーコーン 44mm(1.75 インチ) エッジ エッジ巻きボイスコイル
クロスオーバー ネットワーク	クロスオーバー 周波数	1.5kHz	250Hz、1.5kHz	200Hz、1.4kHz	1.7kHz
	クロスオーバー タイプ	LF=2 次オーダー、HF=1 次オーダー 低損失パッシブタイプ DCT(ディーブクライオジェニック処理)			
エンクロージャー	型式	バスレフ(リア)			パッシブ ラジエーター
	容積	19 ℓ	43 ℓ	76 ℓ	19 ℓ
	仕上げ	ダークウォルナット(ピアノ仕上げ) チェリー(ピアノ仕上げ) ブラック(ピアノ仕上げ)			
外形寸法 (W×H×D) (グリルを除く)	271×470×260mm	370×1081×260mm (スパイクを除く)	434×1176×320mm (スパイクを除く)	600×226×285mm	
質量 (1 台)	10kg	28.8kg	43kg	11.9kg	
付属品	—	スパイク型ネジ×4、フットベース×4、 固定用ホイール×4		台座×1	

※ Definition DC8は2台一組です。

※仕様およびデータは英国TANNOY社の発表によるものです。

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

## エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

### この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。

(日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。